

付録3 新型コロナウイルス感染拡大の状況における大学の対応について（奈良先端科学技術大学院大学）

1. 新型コロナウイルス感染症に対応して、教育課程の実施、授業の方法等について、学生の学習の質を維持するために行った取組の概要を確認したい。

大学回答欄

授業アーカイブを活用した遠隔授業を正規の授業として実施した。

学生の教室集中を避けるために教室の収容人数を目安として複数教室に分け、アカデミックチャンネルとテレビ会議システムを併用して授業を実施した。

2. 新型コロナウイルス感染症に対応して、学生の学習及び生活の支援について行った取組の概要を確認したい。

大学回答欄

本学では令和2年4月22日以降順次アーカイブ授業の配信を行ったが、経済的理由で自宅等に十分な通信環境がない学生を対象に、モバイルルーターを貸与した。

中国から日本へ帰国した学生について、「症状の有無にかかわらず、帰国後2週間は自宅で待機すること」とされていたことを受け、自宅待機中（14日間）の食事等支援（1日当たり3,500 円上限）及びマスク配付、さらに本学の研究者交流施設であるゲストハウスせんたんシャワー室利用を可能とした。

外国人留学生への入国支援として、国費留学生には空港から待機場所までの移動手段として専用のハイヤーを手配するとともに、本学までの旅費、待機期間中の日当及び海外保険料を、私費留学生には空港から待機場所までの移動手段として専用のハイヤーを手配するとともに、本学までの旅費、待機期間中の日当、宿泊費（国費に準じる）及び海外保険料を本学が負担した。

学生に対して、本学の新型コロナウイルス感染症への対応、学生関係事務取扱窓口、各種相談窓口について本学Webページにより情報提供を行った。

新型コロナウイルス感染症の直接的または間接的な影響で家計が急変した方のみを対象として、2020年春学期授業料免除申請の追加募集を実施し、2人の支援を行った。

一連の感染防止対策に伴う行動制限等によって、学業面では授業がアーカイブ授業の配信など、特に新入生等の多大なストレスが想定されることから、保健管理センターでストレス対策を整理し、教職員に通知を発出した。

地元生駒市と連携し、本学の学生・教職員及びその同居家族を対象として本学内にワクチン接種会場を設置し、ワクチン接種を実施した。（令和3年8月11日、9月1日、10月19日、11月9日）